

# 令和6年度 草加市立青柳中学校 第1学年 英語科シラバス

## ○教科の学習目標

1. 英語による積極的なコミュニケーションを図ることができる。
2. 自分の考えや伝えたいことを英語で話したり書いたりすることができる
3. 日常における英語を聞いたり読んだりして、相手が伝えようとする内容を理解したり、正しく応答できる。
4. 自然な英語の発音を身につける。
5. 英語の学習を通して背景にある外国の文化などを理解できる。

## ○ 評価の観点・資料・評定

- 【評価の観点】
- 4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）などのコミュニケーション能力の観点から総合的に見て、A・B・Cで評価します。
- 【評価資料】
- ・授業や各取り組みでの参加の様子（提出物も含む）
  - ・定期テスト
  - ・小テスト、単元テスト、音読テスト、会話テストなど
- 【評定】
- 観点別評価を総合して、学期毎に5段階で評定します。1年間を通して3学期に5段階で学年評価も行います。

## ○教科の学習方法

- ・授業に集中して聞く、発音する。
- ・ペア活動をしっかり行う。
- ・板書、説明をしっかりとノートに書く。
- ・教科書や副教材は、読むこと、書くことができるように練習する。
- ・分からないことはそのままにせず、質問などをして理解していく。

学期	学習内容	学習ねらい
1 学 期	★Get Ready 小学校の復習 ★Program 1 be動詞・where疑問文 ★Program 2 一般動詞・複数形 When疑問文 ○曜日・天気 ★Program 3 canの用法 what疑問文 ○自己紹介 ★Program 4/ 5 This is /That is/代名詞 who疑問文 ○which/whose疑問文	be動詞の用法を正しく身に付け運用することができる。  一般動詞の用法を正しく理解することができる。  疑問詞を使った文に適切に応答できる。  代名詞の使い方を理解することができる。
2 学 期	★Program 5 一般動詞 (3人称・単数・現在) ○季節・月の名前 ★Program 6 why/becauseの用法 ○道案内・序数 ★Program 7 There is / There areの用法 what疑問文 ○これまでの復習 ★Program 8 現在進行形	一般動詞(3人称・単数・現在)の用法を正しく理解することができる。  疑問詞を使った文に適切に応答できる。  現在進行形の用法を理解することができる。
3 学 期	★Program 9 一般動詞の過去形 (規則動詞・不規則動詞)  ★Program 10 be動詞の過去形 過去進行形  ○これまでの復習  ○英語での手紙を書き方	一般動詞の過去形の用法を正しく理解することができる。  be動詞の過去形・過去進行形を正しく理解することができる。  1年間のまとめとして、これまでの文法を正しく理解しているかの確認をする。

# 令和6年度 草加市立青柳中学校 第2学年 英語科シラバス

## ○ 教科の学習目標

1. 英語による積極的なコミュニケーションを図ることができる。
2. 自分の考えや伝えたいことを英語で話したり書いたりすることができる。
3. 日常における英語を聞いたり読んだりして、相手が伝えようとする内容を理解したり、正しく応答できる。
4. 自然な英語の発音を身につける。
5. 英語の学習を通して背景にある外国の文化などを理解できる。

## ○ 評価の観点・資料・評定

- 【評価の観点】**  
 4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）  
 などのコミュニケーション能力の観点を経合的に見て、A・B・Cで評価します。
- 【評価資料】**
- ・授業や各取り組みでの参加の様子（提出物も含む）
  - ・定期テスト
  - ・小テスト、単元テスト、音読テスト、会話テストなど
- 【評定】**  
 観点別評価を総合して、学期毎に5段階で評定します。1年間を通して3学期に5段階で学年評価も行います。

## ○ 教科の学習方法

- ・授業に集中して聞く、発音する。
- ・ペア活動をしっかり行う。
- ・板書、説明をしっかりとノートに書く。
- ・教科書や副教材は、読むこと、書くことができるように練習する。
- ・分からないことはそのままにせず、質問などをして理解していく。

学期	学習内容	学習ねらい
1 学 期	★Get Ready 1 学年の学習内容の復習 ★Program1 未来表現be going to, will 接続詞when, if ○マッピングでメモをとる ★Program2 接続詞that must, have(has) to ○天気予報・電話・料理の表現 ★Program 3 to不定詞 動名詞 ○スピーチ・プレゼンテーション ★Reading1（1学期の復習） ○色々な形容詞	☆1年次既習内容の復習と基礎基本の整理 ☆未来表現を使い夏休みの予定を表現できる。 ☆接続詞を使い自分が住む地域を紹介できる。 ☆接続詞やmust, have toを使いルールやしなげなければならないこと、修学旅行について表現できる。 ☆to不定詞や動名詞を使い将来の夢と実現に必要なことを表現できる。 ○夢の旅行を発表できる ☆物語を正しく読める。 ○形容詞を正しく使うことができる。
2 学 期	★Program4 比較級・最上級・as～as… ○楽器の名前 ★Program5 how to look, become 第4文型 ○レストランで注文 ★Program6 受け身 ○相槌・疑問詞での疑問文 ○ポスター作成・発表 ★Reading2（2学期の復習） ○色々な前置詞	☆比較の各表現を使い自分の好きなもの大切なものについて表現できる。 ○自分が演奏したいものを表現できる。 ☆何かのやり方や人の様子について表現できる。 ○自分の食べたいものやおすすめを伝えられる。 ☆自分の好きな本や漫画や建物などを表現できる ○好きな人物を伝えられる ○人物を説明できる。 ☆物語を正しく読める。 ○前置詞を正しく使うことができる。
3 学 期	★Program7 現在完了（完了・経験） ○相手が未知なものを説明 ○空港での表現 ★Program8 現在完了（継続） 現在完了進行形 ○事実や理由と共に主張しよう ○メールでの近況報告 ○自分の宝物を自己PR ○身の回りの施設など ★Reading3（3学期の復習）	☆現在完了を使って予定の進捗状況や今までの経験を表現できる。 ○必要な情報を聞き取り説明できる。 ☆現在完了を使って自分が誰になりきったか十分に表現できる。 ○自分の主張・近況・宝物・地域などを正しく伝えられる。 ★物語を正しく読むことができる。

# 令和6年度 草加市立青柳中学校 第3学年 英語科シラバス

## ○ 教科の学習目標

1. 英語による積極的なコミュニケーションを図ることができる。
2. 自分の考えや伝えたいことを英語で話したり書いたりすることができる。
3. 日常における英語を聞いたり読んだりして、相手が伝えようとする内容を理解したり、正しく応答できる。
4. 自然な英語の発音を身につける。
5. 英語の学習を通して背景にある外国の文化などを理解できる。

## ○ 評価の観点・資料・評定

- 【評価の観点】**
- 4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）などのコミュニケーション能力の観点を経済的に見て、A・B・Cで評価します。
- 【評価資料】**
- ・授業や各取り組みでの参加の様子（提出物も含む）
  - ・定期テスト
  - ・小テスト、単元テスト、音読テスト、会話テストなど
- 【評定】**
- 観点別評価を総合して、学期毎に5段階で評定します。1年間を通して3学期に5段階で学年評価も行います。

## ○ 教科の学習方法

- ・授業に集中して聞く、発音する。
- ・ペア活動をしっかり行う。
- ・板書、説明をしっかりとノートに書く。
- ・教科書や副教材は、読むこと、書くことができるように練習する。
- ・分からないことはそのままにせず、質問などをして理解していく。

学期	学習内容	学習ねらい
1 学 期	<p>★Program 1 ask + 人 + to do It + for + to do</p> <p>★Program 2 関係疑問文 ○道案内</p> <p>★Program 3 SVOC（第4文型） ○記者会見を開こう ○Reading1</p> <p>★Program 4 後置修飾</p>	<p>不定詞の用法を正しく身に付け運用することができる。</p> <p>間接疑問文の用法を正しく身につけて運用することができる。</p> <p>語順を理解し正しく運用することができる。</p> <p>簡単な語句や文を用いて記者会見をし、感じたことを伝え合うことができる。</p> <p>現在分詞や過去分詞による表現を理解し運用できる。</p>
2 学 期	<p>○ホームページで学校を紹介しよう</p> <p>★Program 5 関係代名詞（主格）のwho / which / that</p> <p>★Program 6 関係代名詞（目的格）のwhich / that / 省略 ○ディスカッション</p> <p>○あなたの町を世界にPRしよう</p> <p>★Program 7 仮定法過去 ○Reading2</p>	<p>HPの構成を分析し、部活や行事などについて書くことができる。</p> <p>関係代名詞（主格）のwho / which / that 表現の理解し運用することができる。</p> <p>関係代名詞（目的格）のwhich / that / 省略 表現の理解し運用できる。</p> <p>相手に納得してもらえように自分の考えを理由も含めて伝え合うことができる。</p> <p>自分の考えや感想などについて、簡単な語句や文を用いて書いたり、即興で伝え合ったりすることができる。</p> <p>仮定法過去の表現を理解し運用できる。</p> <p>スピーチについて概要を捉え、自分の考えについて書くことができる。</p>
3 学 期	<p>○中学校の思い出を残そう</p> <p>入試対策</p>	<p>中学校の思い出について、話したりすることができる。</p> <p>入試対策として、3年間の復習、リスニング、英作文演習</p>

